対応機種　MISW－4511　MISD－4511　MISW－4521　MICW－4511
EW－CB59PF　EW－CB59PF－SA

＊これ以外の機種については同梱しています、もう一方の交換用フタ据付工事説明書をご覧ください。

交換用フタ据付工事説明書

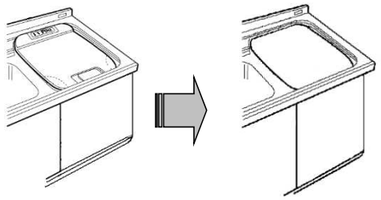
「交換用フタ」とは？
現在までお使いいただきました、トップオープン食器洗い乾燥機（又はトップオープン食器乾燥機、クッキングウオッシャー）を撤去したあと、シンクトップの切欠き穴を塞ぎ、ワークスペースとして使用できるようにするための交換用フタになります。

【施工手順】

既存機器の撤去
↓
据付準備
↓
据付
↓
据付後処理及び点検

【標準施工例】

完成図（キッチン右側取り付け例）



「交換用フタ」同梱部品一覧
EW-TFUTA　（型名コード47Y928）

①交換用フタ	②結露防止シート	③固定ナット
（1個）ステンレス製	（1個）両面テープ付き	（17個）M4

現地調達部材一覧

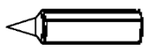
㋐給水給湯接続用キャップ　＊「トップオープン食器洗い乾燥機」の場合一口分必要です
＊「クッキングウオッシャー」の場合二口分必要です
＊「トップオープン食器乾燥機」の場合不要です

注意
キャップは現地調達部材ですので必ずご用意ください。

㋑排水接続用キャップ

お願い
キャップのサイズは必ず現地確認してください。

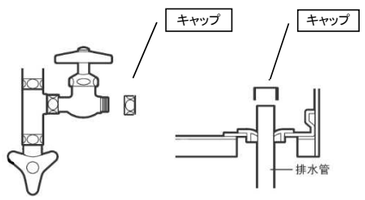
専用工具一覧

㋒シリコン系コーキング材＊ ＊防カビタイプ使用のこと 	㋓テフロンシールテープ
㋔塩ビ配管用接着剤	㋕ボックスドライバー M4用対角7mm

【施工手順】

1 既存機器の撤去
既存機器の撤去は裏面記載の機器ごとの手順を参照の上撤去してください。

2 据付準備
「交換用フタ」設置のみの場合 ➡ （1）既存機器の接続に使用した給水（給湯）口及び排水口をそれぞれ塞ぐ。

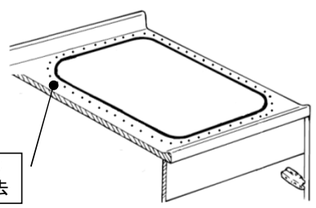


⚠注意

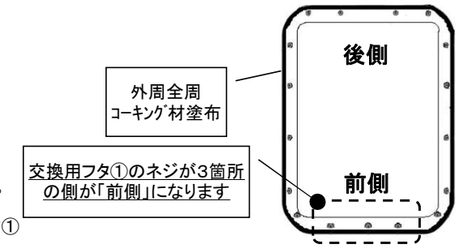
禁止
給水（給湯）口は止水栓を止めるだけでなく、確実に接続口にキャップしてください。

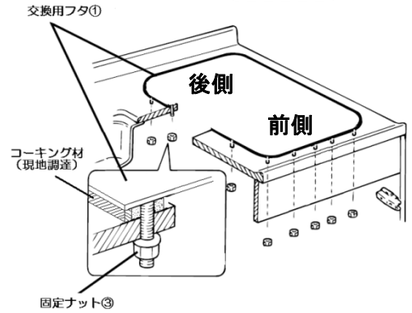
「代替ビルトイン」施工の場合 ➡ （1）給水（給湯）口及び排水口は設置する
「引き出し式食器洗い乾燥機」の接続に使用するのでそのままにしておいてください。

（2）キッチンカウンタートップ穴周囲の汚れを除去する。
＊汚れや水垢は水漏れの原因になりますので、確実に汚れ除去実施してください。
＊落ちにくい水垢はスポンジにクリームクレンザーをつけて、ステンレスの研磨目にそって軽くこするなどして除去してください
また、クリームクレンザーの残りは水などでよく洗いキッチンカウンタートップに残らないようにしてください。



3 据付
（1）キッチンカウンタートップに交換用フタ①を置き、
交換用フタ①のネジ位置（17箇所）が合っているのかどうか確認する。
＊1箇所でも合わない場合は据付できません
（2）確認後、下図の通り交換用フタ①の外周をコーキング材にて全周塗布する。
＊コーキング材が必ず全周隙間なく塗布すること
（3）コーキング材塗布後直ちに、キッチンカウンタートップに交換用フタ①を設置する。
（4）交換用フタ①のネジ部17箇所すべてに、固定ナット③を手回しにて仮締めする。
＊交換用フタ①のネジが確実にキッチンカウンタートップの穴に入るよう、交換用フタ①を上面より押し込む。
（5）仮締めした固定ナット③をボックスドライバーにて締め込みする。
＊ボックスドライバー M4用対角7mm
＊締め付け順序は右図の通りとすること。
＊必ず手締めすること。
＊適正締め付けトルク 1．5N・m（15kgf・cm）
＊ボックスドライバー以外の工具（ボックスレンチなど）を使用して締め込みは行わないでください。





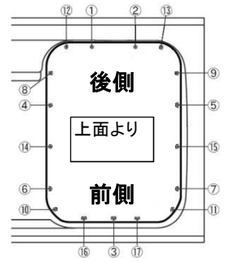
⚠注意

禁止
指定工具を用いて、必ず手締めしてください。
＊溶接ネジが破損する恐れがあります。1箇所でも破損した場合使用しないでください。（水漏れになる恐れがあります。）

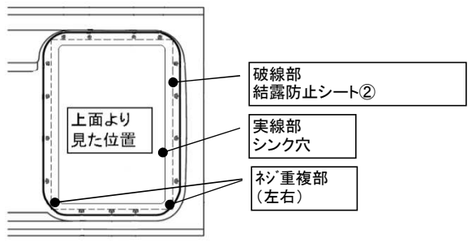
使用可

使用不可
（ﾈｼﾞが破損する恐れがあります）

ﾅｯﾄ締付順序



（6）キッチンカウンタートップに設置した交換用フタ①の周囲からコーキング材が漏れでているので、きれいに拭き取ること。
＊拭き取り後、交換用フタ①とキッチンカウンターとのすきまを全周目視確認し、コーキング漏れがないかどうか確認すること。
（7）交換用フタ①のシンク側に結露防止シート②を貼り付ける。
＊結露防止シート②の貼りなおしはできません。
（結露防止シート②が破れてしまいます。）
＊必ずシンクの穴を覆いつくす様に貼り付けること。



＊各ﾈｼﾞの内側を位置決めに配置することでほぼ中央に貼り付けできます。
但し2箇所のみネジと重複しますので、その位置は結露防止シート②をネジ上から貼り付けてください。

4 据付後処理及び点検
（1）交換用フタ①の保護シートを除去する。
＊保護シート除去後、端面エッジにバリなどがないか確認してください。
（2）完成後の点検をする
①交換用フタ①の浮きなどはありませんか。
②すべてのネジ位置に固定ナット③を締め付けてありますか。
③交換用フタ①のコーキングは全周漏れなくおこなわれてますか。
④シンク内側に結露防止シート②は忘れず貼り付けしましたか。

「交換用フタ」設置のみの場合 ➡ 隣接ドアなどや鴨居、点検口のフタなどを外した場合は元の状態にもどしてください。
以上で据付工事完了です。

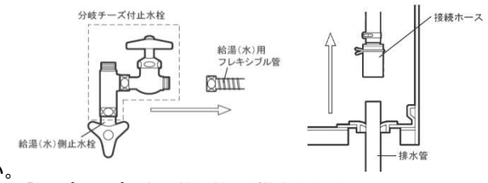
「代替ビルトイン」施工の場合 ➡ 代替ビルトイン据付工事説明書
7 「引き出し式食器洗い乾燥機」の設置　へ

既存機器の撤去

＊「トップオープン食器洗い乾燥機」の場合

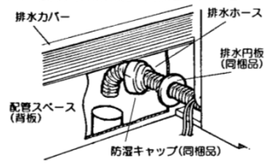
「トップオープン食器洗い乾燥機」の撤去の場合
「トップオープン食器乾燥機」の撤去の場合

（1）止水栓を閉じ、電源プラグを抜き、アース線を外します。
＊給湯（水）用ホースのナットを緩めて給湯（水）用ホース
を外してください。
＊排水ホースのホースバンドを外して排水ホースを外してください。

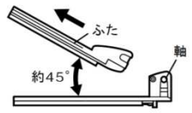


＊「トップオープン食器乾燥機」の撤去の場合

（2）キッチンの扉、鴨居及びヒンジ部を取り外します。
また、隣接する扉、引き出しも必要に応じて、取り外します。
（3）洗浄槽内にある付属品（食器カゴ、小物入れ、ヒータガード
、残菜フィルター等）を取り出す。

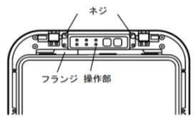


（4）ふたを約45°開き、ふたを抜き取る。

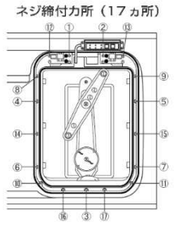


（5）フランジカバーとフランジの間にマイナスドライバーを差し込み、フランジカバー
の爪をはずし、フランジカバーを取る。
＊フランジとフランジカバーははめ込んでいるだけですので右図▸のすきまに
マイナスドライバー等を差し込み外してください。

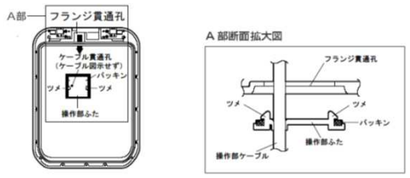
（6）操作基板取り付けネジ（2本）を取る。



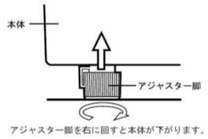
（7）フランジ取り付けネジ（17本）を取る。



（8）操作基板からの口出線を固定している操作部ふたをフランジ
から抜き取る。
（9）操作基板部をフランジから抜き取り、庫内に入れておく。



（10）本体の脚を締めて、本体を下げる。



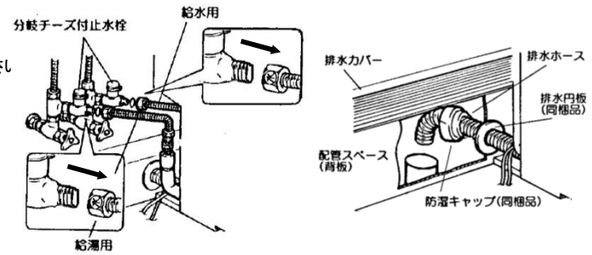
（11）本体設置用の置き台を抜き取り、本体を引き出す。

「交換用フタ」設置のみの場合
➡ 交換用フタ据付工事説明書 **2** 据付準備 へ

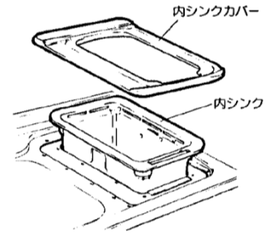
「代替ビルトイン」施工の場合
➡ 代替ビルトイン据付工事説明書 **4** 「置き台」の設置 へ

「クッキングウオッシャー」の撤去の場合

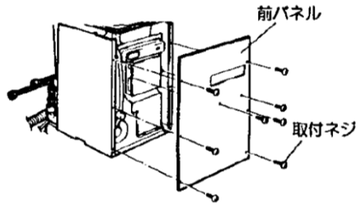
（1）止水栓を閉じ、電源プラグを抜き、アース線を外します。
給湯、給水用フレキ管のナットを緩めて外し、給湯、給水用フレキ管を外してくださ
防水キャップ、排水円板とともに排水ホースを配水管より抜取ます。
（2）キッチンの扉、鴨居及びヒンジ部を取り外します。
また、隣接する扉、引き出しも必要に応じて、取り外します。



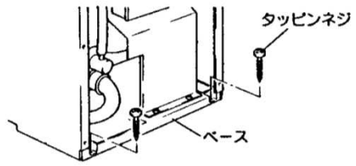
（3）内シンクと内シンクカバーを外します。



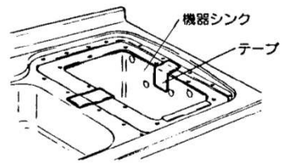
（4）機器本体前面取付ネジ（8本）をはずし、前パネルを取り外します。



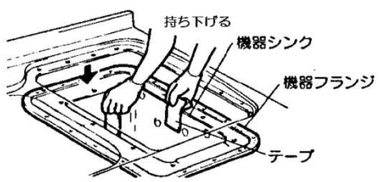
（5）ベースのタッピングネジ（2本）を外します。

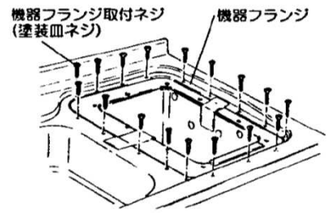


（6）機器シンクを仮固定します。
＊機器シンクの左・右側にテープを貼り付けます。（5cm～10cm貼り付ける）
＊テープは後ほど外すので、養生テープ等の剥がし易い仮固定テープを使用すること。

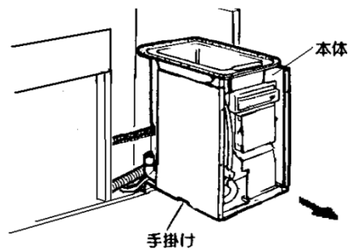


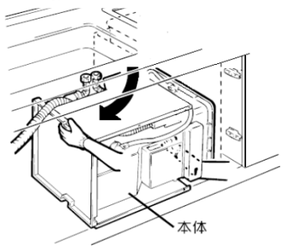
（7）機器フランジ取付ネジ（17本）を取り
、機器シンクを持ち下げます。





（8）本体下側の手掛けを持って、キャビネットより本体を
引き出します。
＊鴨居等が外せないなどで本体をキャビネットより引き出せ
ない場合は、本体をシンク側に横倒しにしてキャビネットより
引き出してください。





「交換用フタ」設置のみの場合
➡ 交換用フタ据付工事説明書 **2** 据付準備 へ

「代替ビルトイン」施工の場合
➡ 代替ビルトイン据付工事説明書 **4** 「置き台」の設置 へ

対応機種 EW-CB50P EW-CB50MK EW-CB55P EW-CB55PF EW-CB59PF EW-CB57PF EW-CB57MK EW-CB58MK EW-CB59PF-SA 38-768 TK-AB8 TK-AB85 TK-AB85F

＊これ以外の機種については同梱しています、もう一方の交換用フタ取付説明書をご覧ください。

交換用フタ取付説明書

「交換用フタ」とは？

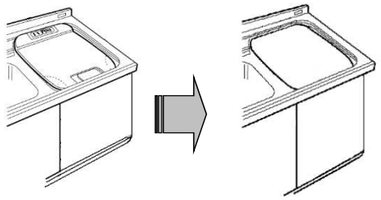
現在までお使いいただきました、トップオープン食器洗い乾燥機（又はトップオープン食器乾燥機）を撤去したあと、シンクトップの切欠き穴を塞ぎ、ワークスペースとして使用できるようにするための交換用フタになります。

【取付手順】

既存機器の撤去
↓
取付準備
↓
取付
↓
取付後処理及び点検

【標準取付例】

完成図（キッチン右側取付例）



「交換用フタ」同梱部品一覧

EW-TFUTA　（型名コード47Y928）

①交換用フタ	②結露防止シート	③固定ナット
（1個）ステンレス製	（1個）両面テープ付き	（17個）M4

現地調達部材一覧

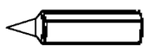
㋐給水給湯接続用キャップ　＊「トップオープン食器洗い乾燥機」の場合一口分必要です
＊「トップオープン食器乾燥機」の場合不要です

注意
キャップは現地調達部材ですので必ずご用意ください。

㋑排水接続用キャップ

お願い
キャップのサイズは必ず現地確認してください。

専用工具一覧

㋒シリコン系コーキング材＊ ＊防カビタイプ使用のこと	㋓テフロンシールテープ
	
㋔塩ビ配管用接着剤	㋕ボックスドライバー M4用対角7mm

【取付手順】

1 既存機器の撤去

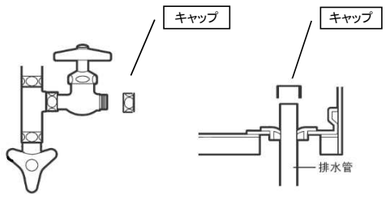
既存機器の撤去は裏面記載の手順を参照の上撤去してください。

2 取付準備

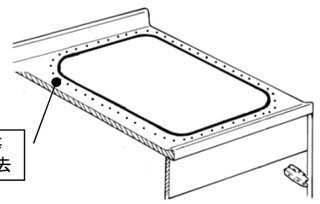
（1）既存機器の接続に使用した給水（給湯）口及び排水口をそれぞれ塞いでください。

⚠注意

禁止　給水（給湯）口は止水栓を止めるだけでなく、確実に接続口にキャップしてください。

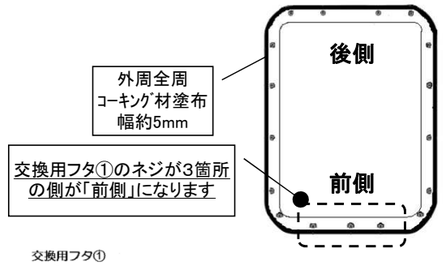


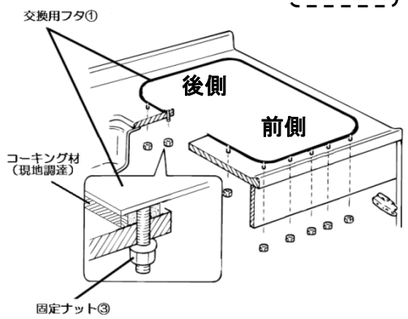
（2）キッチンカウンタートップ穴周囲の汚れを除去してください。
＊汚れや水垢は水漏れの原因になりますので、確実に汚れ除去実施してください。
＊落ちにくい水垢はスポンジにクリームクレンザーをつけて、ステンレスの研磨目にそって軽くこするなどして除去してください。
また、クリームクレンザーの残りは水などでよく洗いキッチンカウンタートップに残らないようにしてください。



3 取付

（1）キッチンカウンタートップに交換用フタ①を置き、
交換用フタ①のネジ位置（17箇所）が合っているのかどうか確認してください。
＊1箇所でも合わない場合は取付できません。
（2）確認後、下図の通り交換用フタ①の外周をコーキング材にて全周塗布してください。
＊コーキング材が必ず全周隙間なく塗布してください。
（3）コーキング材塗布後直ちに、キッチンカウンタートップに交換用フタ①を設置してください。
（4）交換用フタ①のネジ部17箇所すべてに、固定ナット③を手回しにて仮締めしてください。
＊交換用フタ①のネジが確実にキッチンカウンタートップの穴に入るよう、交換用フタ①を上面より押し込んでください。
（5）仮締めした固定ナット③をボックスドライバーにて締め込みしてください。
＊ボックスドライバー M4用対角7mm。
＊締め付け順序は右図の通りとしてください。
＊必ず手締めしてください。
＊適正締め付けトルク 1．5N･m（15kgf･cm）。
＊ボックスドライバー以外の工具（ボックスレンチなど）を使用して締め込みは行わないでください。





⚠注意

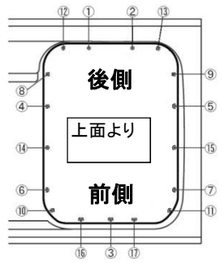
コーキング材の内側からの塗布が困難な場合については交換用フタ①を取付後、カウンタートップ側から全周塗布しても性能上、問題ありません。

禁止　指定工具を用いて、必ず手締めしてください。
＊溶接ネジが破損する恐れがあります。1箇所でも破損した場合使用しないでください。（水漏れになる恐れがあります。）

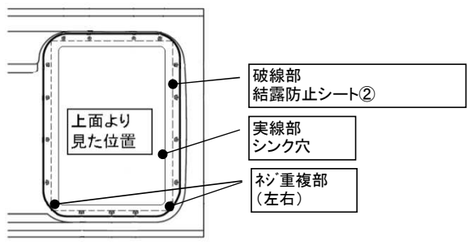
使用可

使用不可
（ﾈｼﾞが破損する恐れがあります）

ﾅｯﾄ締付順序



（6）キッチンカウンタートップに設置した交換用フタ①の周囲からコーキング材がはみ出ているので、きれいに拭き取ってください。
＊拭き取り後、交換用フタ①とキッチンカウンターとのすきまを全周目視確認し、コーキングはみ出しがないかどうか確認してください。
（7）交換用フタ①のシンク側に結露防止シート②を貼り付けてください。
＊結露防止シート②の貼りなおしはできません。
（結露防止シート②が破れてしまいます。）
＊必ずシンクの穴を覆いつくす様に貼り付けてください。



＊各ﾈｼﾞの内側を位置決めに配置することでほぼ中央に貼り付けできます。
但し2箇所のみネジと重複しますので、その位置は結露防止シート②をネジ上から貼り付けてください。

4 取付後処理及び点検

（1）交換用フタ①の保護シートを除去してください。
＊保護シート除去後、端面エッジにバリなどがないか確認してください。
（2）完成後の点検をしてください。
①交換用フタ①の浮きなどはありませんか。
②すべてのネジ位置に固定ナット③を締め付けてありますか。
③交換用フタ①のコーキングは全周漏れなくおこなわれてますか。
④シンク内側に結露防止シート②は忘れず貼り付けしましたか。
（3）隣接ドアなどや前板（幕板）、点検口のフタなどを外した場合は元の状態にもどしてください。

以上で取付完了になります。

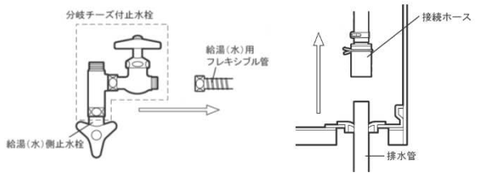
既存機器の撤去

（1）止水栓を閉じ、電源プラグを抜き、アース線を外してください。
＊給湯（水）用ホースのナットを緩めて給湯（水）用ホース
　を外してください。
＊排水ホースのホースバンドを外して排水ホースを外してください。

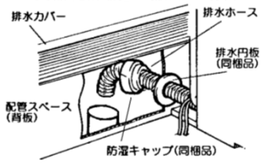
（2）キッチンの扉、前板（幕板）及びヒンジ部を取り外してください。
　　また、隣接する扉、引き出しも必要に応じて、取り外してください。

（3）洗浄槽内にある付属品（食器カゴ、小物入れ、ヒータガード
　、残菜フィルター等）を取り出してください。

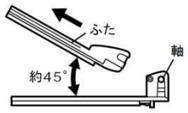
＊「トップオープン食器洗い乾燥機」の場合



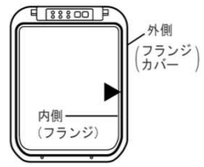
＊「トップオープン食器乾燥機」の撤去の場合



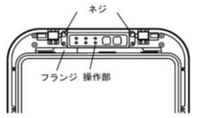
（4）ふたを約45°　開き、ふたを抜き取ってください。



（5）フランジカバーとフランジの間にマイナスドライバーを差し込み、フランジカバー
　の爪をはずし、フランジカバーを取ってください。
＊フランジとフランジカバーははめ込んでいるだけですので右図▸のすきまに
　マイナスドライバー等を差し込み外してください。

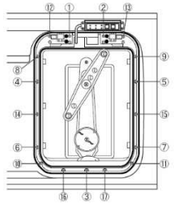


（6）操作基板取り付けネジ（2本）を取ってください。

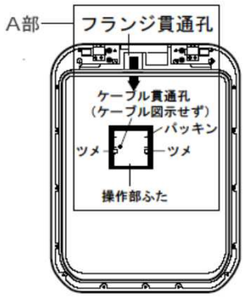


（7）フランジ取り付けネジ（17本）を取ってください。

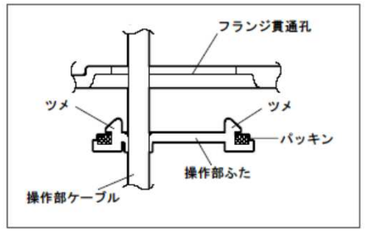
ネジ締付カ所（17ヵ所）



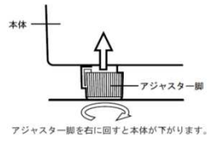
（8）操作基板からの口出線を固定している操作部ふたをフランジ
　　から抜き取ってください。
（9）操作基板部をフランジから抜き取り、庫内に入れておいてください。



A 部断面拡大図



（10）本体の脚を締めて、本体を下げてください。

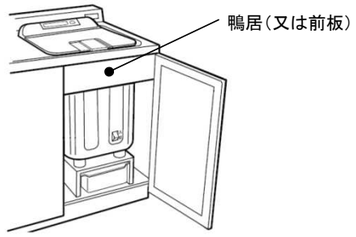


（11）本体設置用の置き台を抜き取り、本体を引き出してください。

交換用フタ取付説明書
2 取付準備　へ

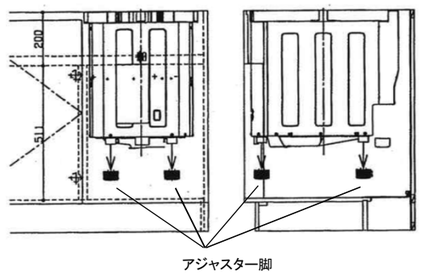
前板（幕板）が外れないキッチンについて

キッチンの種類によっては、キッチン前側の前板（幕板）が外れない
ものもあります。
この場合には下記要領にて、既存機器の撤去をしてください。

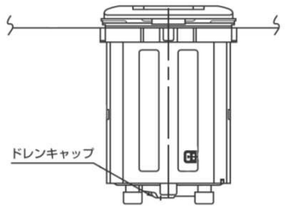


（1）左記、既存機器の撤去にしたがい（9）手順まで作業してください。

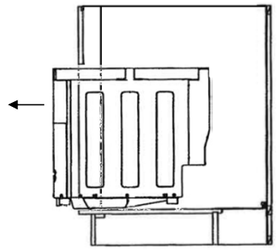
（2）本体の脚（4箇所）の「アジャスター脚」のみを緩めて外してください。



（3）本体底板にある「ドレンキャップ」を外してください。



（4）本体をキッチン開口部から前方へスライドさせて取り出してください。
　　＊この状態の本体高さ寸法とキッチン開口部寸法がほぼ同寸法なので
　　2人作業でキッチントップ面を持ち上げながら取り出してください。



⚠注意

＊取り外しの際に本体が、キッチン底板に擦れる
　ために必ずキッチン底板を養生してください。

交換用フタ取付説明書
2 取付準備　へ